

アカウミガメの採卵保護を行いました

高知市立春野西小学校

高知市春野町仁ノ 平成30年6月14日（木）

高知市立春野西小学校の4年生が、ウミガメ保護活動をしている春野の自然を守る会の熊沢さん指導の下、アカウミガメ(以下、ウミガメ)の採卵保護を行いました。



▼採卵の前に、小学校で約1年間飼育をした2匹のウミガメを放流します。
何度も波で砂浜に戻されるウミガメに「がんばれー！」「次の波でいけるで！」
と大きな声で応援し、2匹のウミガメが海へ帰るまで全員で見守りました。



▼2匹を見送ったあと、4年生全員で海岸の清掃をしてくれました。
短い時間でしたが、たくさんのゴミが集まりました。
きれいになった海岸に、またウミガメが産卵に来てくれるといいですね。



▼砂浜に残っている足跡を、全員でじっくり観察しました。
熊沢さん「足跡が大きいから、大きなウミガメが産卵に来たことがわかるね。」



▼いよいよ採卵開始です。熊沢さんと高知大学の学生さんが慎重に砂を掘っていきます。卵が見えると大きな歓声が上がりました。



▼今回は65個の卵を採卵しました。
保護した卵は、小学校のふ化場に移設します。



▼採卵後、「プニプニしていた」「ベタベタしていた」「少し柔らかかった」など卵に触れた感想を熊沢さんに伝えていました。

最後に熊沢さんにお礼をして、ウミガメの採卵保護は無事終了しました。



▼4年生の皆さんは、これから約2ヶ月間、ふ化場の水やりや温度計測など大変ですが、子ガメの誕生を楽しみにお世話を頑張ってください。